で、一方をは、一方をは、一方をは、一方をは、一方をは、一方をは、一方をは、一般に、一方をでは、一方をでは、一方をでは、一方をでは、一方をできません。 アンボール アン

呈軍敵を完全に包圍

伏戦か

北支狀況を

敞軍中を突破し

米議會乘切り決意の

高橋藏相の財政計畫

廣範圍の税制改正斷行

再び政局に危機

我增援隊北平到着

北支將領會議

ついての際明を要すべしさ

長辛店に

陣地構築

そ、何態就その他軍事節扇は極難に緩難し、中央軍の治力はなほ、北平にて風間特派員二十四日發」我軍の物票で

「河右岸に據つて

引揚げを中止し北平の不安は著しく緩和されるに至つたつた結果、遂に北平公使團の勸告を容れ、態度を急變し對日平和に轉向したので邦人は一時【北平にて風間特派員二十四日發電】 何應欽は部下が全く疲弊して戰意を喪ひ、總崩れとな

界 未 鈴 人行發 治代喜本橋 人軒編 盛 武 村 本 人駅印 地香一州町間公東市連大 社報日洲滿 社會式株所行費

何應欽の態度轉向か

北平の不安著し

和し種々事情の説明を求めたの

哈崎溝(園場西方約十五里)母院の途甲機體に故障を生じたた 圓滿解決望めず

小西総長辭任か

瀧川京大教授問

現業主任命

※天職務安将線にて安東に向ふ答 とヤマトホテルに小憩の後十一時

野茶業生、こりや溢れるのが常の機い中等駅桜の門に間崩を打つ

うらる丸の船客

ちこれ。そ実職の災職だ。 然、其の緩和策は斯下の緊急事。

軍中佐秋吉利雄、職務社員角峰 八田浦殿副禮載、杉本秘書、 八田浦殿副禮載、杉本秘書、 1000年第一十四日登3二十六日

力特に農民の購買力を増

の奥望が續くかごうか。 一般に當るさいふ、それまで同民。 総総職権、倉職の職人院りはそ 「俺がやめの代りに君入れ」さ んの行動。心臓は何處まで

その間は鳴ださおつ

を持つ観楽の熱情を見よっ 中等単校常院運動経然さ起る、 んで居るので

あなたが競な女に

を かけて、そのために下らない感識してあられば、 から 世間風知の事態なんですよ。 まがそれを知らないさ思ってあら

出水侍從武官

既みつけてるたが、老人が默り込 その女なごう

できっ言って、出て行った。 はきう言って、出て行った。 女将になって、出て行った。 女将

保の問題

東天紅 中 Ξ (92) 滥

五人様の様になって続々さして支 車上人様の様になって続々さして支 車上人様の様になって続々さして支 車 藤 夜 事者の手によって隣平送運転を見し埋た開始することとなった

北票所見

4さして散師せる兵銃航務の罷頭 様々たる功総の裏廊には、終姉默 部河怪戦における、第一総都隊の

消職し、飢さ寒ささに切へ

泂 行 (三)

「天津二十四日 教園通」山海陽以 一変感像所を修理しつ、あるが、震 で感像が成立を形式のため映像され居 り之が感像修理には二十四日散 北寧鐵路修理

アディ氏は天津方面の裁判事 「天津廿四日教園通」 上海米判事赴津

あなたな行つ ちやアんさ



を握くに至ったものと を握くに至ったものと を握くに至ったものと ながりに表だらいのに かった模様である、類と

總裁拒絕

・ きんて作が、大豆細豆味識でもれる心脈が全部塊ださば云は

ちやないかっ

政府對政友關係複雜

武藤元帥以下

來するものさ見られてゐる

政局の危機再

五十錢(議) 住民

けさの團體お客さん

日

る現男 突煙

水を掛けられて 息を吹き返す

取り口から引張り出して見ると煙突男ぐんにやりさしてゐるが、

奏男ぐんにやりさしてゐるが、死にもせず、なんさすつかり「す。男」に一變してゐ國、二十四日號の华頭出號時に加へて入灣戲で暖った华頭に黑山な樂かせた、しかも

る地質ピルの歴実の上に突如現れた

歴史男「満洲歴史男」の第一世を毎年・1

いふことに「だらしがねえなあ

える、横石の態勢男二尺し は煤取口に脳つけ引

込まれるやうに精液した。さめ大日二十尺の煙突の中にまるで吸び

な 関係のさいなみに違ってゐるイーの歴史男、質な割って見れば無の家

の取調べに對し語るさこ である、水上署栗原 を選子等、また五年生の保護を には差と辿った明年のここでもり には差と辿った明年のここでもり たまでする。また五年生の保護を かまったのでなってこの運動に離るこ

一十三日午後七時より 一下三日午後七時より 一下五季県より報告 のあつたが一層電行連。

さいかこさは二克 は男女隅中等 た揚句

まれ 流い事情が伏花する 不思議がつてゐる

連くまで山脈通りにて支那自殺流行時さて死ぬ無にな

社會苦にさいな

不安に駆けれ人心悩べさしてる

当

大山林木店から最大同期本から吹き売れる南風に掘られる水になる を都か包み頭に裏に山機されてあった建築材料の林木に延燃した火 をは天に冲してゐるが二十四日は 大山林・海原は裏に山機されてあるが二十四日は 大山林・海原は観光で全く常火経

大山桃木店から養火同桃来から吹二十分新京東二條識リ六十一番地二十四日午前十一時 新京の火事

たらこれで催ら更生

でてるたんです。さんだくなつたので質は心めた

の曲藝的戦慄

煌突から

を 動物院職員が父の知り合ひな かずみたり、さきに未滅した の報かもたらする木村理事は吃驚 木村理事談

倒的破格の方 夏流行の優良品 の御仕屋は只今川

豊富に取揃へ 断然 賣

の町速浪

單柄モスリン着尺 二面五十錢…二面九十五錢…三面三十錢

(新意 紹着尺・ボイル着尺・婦人小兒服地・中形浴衣地 || 列 *二十五錢のベビー服・二掛二十五錢の半衿・モス 初夏向モスリン友仙 キース 七銭 十一錢 十三錢

クロイロンドへない。「「「大きな」」というでは、「これ」」という。

改良に改良されて初めて完成した國産の絹服地 内地は勿論、 世界的に賞讃を博して居る逸品、

絹 夏服地

高

特長、上品で輕快で涼しく、 お桃上下四〇回より五〇回迄 且つ丈夫

としていることでは、日本のではのでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは 三脑 五〇四より六〇回迄

冷

ス クリ 藏 器 庫

器

C型・B型・

由自品返金返 達配賃無順旅

「中四日午前八時頃华頭の木村監」村監殿は「危ないから降りろ」したさころ物後い見事で起

*門中度 の長泉男がつつ立つ 叩くのでほむなく支那人に煙寒に さたかに 煙寒の上に

巾内各小學校の保護者會代表

でまつ動からた とした――商船が南米 にした――商船が南米 にては大連港始まつて をよっ動からた

うに現る

ほつかり浮城の 世外周統製では世界のレコー 『ぶえのすあいれす丸』

たが大連出身の軍人で戦艦したの 東人後總倉では早瀬見郷をを戦つ 東人後總倉では早瀬見郷をを戦つ 東人後總倉では早瀬見郷をを戦つ

本會事務局を本日

八年五月廿四日 松峰 淅洲大博覧會事務局を本日左記の箇所に移轉仕候

昭和八年五月廿四日

て復口井が祀めてである

博覽會場內

電話

大連聖徳第一丁目二六九瀬口日出大連聖徳第一丁目二六九瀬口日出

濱口君頁傷

子

供

蚊

帳

四本骨…

ス

ダ

カ

ソー

ダサイフ

オン

氷

削

アイ

硝



予

各

位

市の風(晴)一時季 春地温度 中四日早前十二 等 天 二 新 京

まり、火災和見無 の大変に因ること判明政候間此段 の大変に因ること判明政候間此段 の大変に因ること判明政候間此段 の大変に因ること判明政候間此段 の大変に因ること判明政候間此段 は同地第二工場に併合継續仕候に付何卒不 は同地第二工場に併合機積仕候に付何卒不 は同地第二工場に併合機積仕候に付何卒不 主

市、御多用中ニモ 市、御多用中ニモ がある用中ニモ がある用中ニモ 大連出張所

九七五九五番 レートン社ペインテックス手藝(エノグ制権) 講習會々員募集 期 日 5.27.28.29(8日間) 市社會館編制室(羽衣町) 講習料 5個20個但講習書・研究所 1歳セット・第1日の布地共 申込期日

5月26日(午後まで) 申込所 市內混連利伊勢利角。 拓茂洋行內 (中込用紙あり) 電砂線響 インテツクス研究す 士士 般法律事務を 扱

辯法 護學

^^^^^ 外人間の事件及び

洋酒セットグラス・ 御座敷職·羅屛風 ス・人絹 六本骨 皿押 ⋅ 型 B

神

0

妙

技

人話世 小川中鴨

野上山井 正太袭忠 直郎一治

連

人 浪 東 東 王 曲 家

港 家 小 樂 遊 丸 燕

曲 0 豪 華 版

を定評ある **里勢伊連大**





殖産の寳庫満洲

浦州事態は前州産業登展の革新

為替氣而

配强含

製粉業者は輕視

に 工商五子戦齢であり、之等は は五月戦闘集態に終九萬戦である が、下側に引取緩つてあるものは 二萬五子戦齢であり、之等は 士和目用・精出な中止も、驚別 大和目用・精出な中止も、驚別

削人氣盛な 市

脈被引上の影響を総くみてゐる

北

鮮海運界沿革

(L)

所在海港の發展經過

朝鮮郵船會社調查

がなる。

邦品禁止的な

支那新關稅

に目立つ大都市の出品ぶ

城森根知清賀島川電梨山阜川賀良島木崎玉山井口山川 別島川電梨山阜川賀良島木崎玉山井口山川 約1、2000年 2000年 20

收入補填附加稅

元前長 こと、デュート、アースの引上さなつたもの

の使用を引継がも

四五八六一三三

日東職権協定難職の補介と共に南 でたものさ目せらるゝだけに、大 でたものさ目せらるゝだけに、大 でたものさ目せらるゝだけに、大

カエン 入補運附加税(後来一部に動しを 物を含む)に動だれるたが上海疾動では去る 一に動だ収入和運附加税(後来一部に動しを 物を含む)に對しても水災救害並に動稅収入和運附加税(後来一部に對しを ををしても水災救害並に動稅収入 の五分)な微収すべき皆本告した 徵收範圍擴大

奉天驛乘降者

一一、 六二、 六五六 六二、 六二、 六五九 六 二、 六五九 六

職會頭は二十四日役員會にこれななに根内氏の報告を受けて高田際

を はた で はない はない ない はない はない はない はん 一層関東関語局に も 陳信 腕解を 束むるつ もりである

職職東職に食見ない 業部委員會におい である。

『奉天費』四月中における郷天職 の悪略者敷左の如と 本郷線 本郷線 二八八三六二

満鐵は暫~靜觀

崙山丸撫順炭滿載出帆

開税引上げ對策

111、1100 七、六五三

調查聯合會開訊 特産取引の圓滑を

證券杜絕不便は

米橋戦極跡を左の

教省工具は

市

一〇四九四〇

四日市

大豆 一五車 大豆 一六 高樂 一車 高樂 四 三車 高樂 四 三車 高樂 四 三車 高樂 四 二三車 大豆 六二

各地特產發送高

小川順之助

が、ハルビンを中心させる北浦各 の品が変れて居つたのであります の品が変れて居つたのであります

高東線は新規貸付 高東線は新規貸付

四月中一 輸組成 五三一十十七現

神学 神神戸 日米 市場電報 (十四日) (十四日) (十四日) (十四日) (十四日) (十四日) (十八分七間 集集 (10年) (11年)

村料 开 えず 村料 开 えず 会刺級塊は維育、孟質さも同事、 会神級塊は維育、孟質さも同事、 会替たれて常市時、子頭保合に終る 為替に日米同時、米月二十位 無脚十七人風三十段、無煙九十五 風世段、大洋九十四風十七段五厘 今定期前場(単位段) 寄付 高値 安値 大引 寄付 高値 安値 大引

消費者に稅金轉嫁も出來る

新洲大豆の欧洲商は公とく寛悠へ 社外総の探集誌に近づいてきた。 をではて最近様に質無の燃焼をみ 山下海線に於ても六月稲浦船號一 が、これがため野殿運動 髪の取締めを見、更に三髪の腰腮 をでいるとは様、最低十六シルキか 進行中である 六月積滿船もの一隻取極め

對欧大豆買氣擡頭で

海運界や、好轉

地方は高州町の有線である。 地方は高州町である。 を見たので成行場が町である。 全く大ので成行表 【四平街景】相思 轉業者婦出粟地

世生っ いいまで から一戦されて代表者いされたでるが、清郷ださて八十 でれたでるが、清郷ださて八十 でれたでもが、清郷ださて八十 でれたでもが、清郷ださて八十

昻

支那の新開稅率に對し はしては地質及び日本内地の需要にしたは地質及び日本内地の需要にした。 しては地質及び日本内地の需要にした。 し及ぼす、共派における影響を繋でを供に繋縦を繋でをはいて唇り、影響り地臓の影響に し及ぼす、共派における影響を繋でるに し及ぼす、共派における影響を繋でるに しる。ことにしてある、從つて手 があるゆうとしてまで支那土炭を繋ぎるに する等の意思は世下毛頭ないさ

出 島ハルビン事務所運輸課長の三氏を抵給、満洲関地方行政機能はもさより経管特別の を練動員し南滿調査は密港運輸、満 にて北淅源章はハルビン事務所に にて北淅源章はハルビン事務所に にて北淅源章はハルビン事務所に にて北淅源章はハルビン事務所に にて北淅源章はハルビン事務所に にて北淅源章はハルビン事務所に を綜合して調査の完全を期せんさ おいて主管し、各地間の鎌旭調査

麻袋續落

関係を実施の所に他ニュース) 関係を実施の所に他ニュース) 関係を実施の所に他ニュース) 関係を実施の所に他ニュース) を実施の所に他ニュース) を実施の所に他ニュース) を実施の所に他ニュース) を実施の所に他ニュース) を実施の所に他ニュース) を実施の所に他ニュース) を実施の所に他ニュース) を実施の所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変を内所に他ニュース) を変をのの所に他ニュース) を変をのの所に他ニュース) を変をのの所に他ニュース) を変をのの所に他ニュース) を変をのの所に他ニュース) を変をのの所に他ニュース) を変をのの所に他ニュース) を変をののが、一般に他ニュース) を変をののので、他になる。 を変をのので、他になる。 を変をのので、他になる。 を変をのので、他になる。 を変をのので、他になる。 を変をのので、となる。 を変をのので、となる。 を変をのので、となる。 を変をのので、となる。 を変をので、となる。 を変をので、を変をので、を変をので、 を変をので、を変をので、 を変をので、を変をので、 を変をので、 を変をのでをでをで、 を変をでをでをでをでをでをでをでをでをでをで

カー▲收穫高一

東京 (1) 本の (1) 一 九 五 八 九 五 八 九 五 八 九 五 八 九 五 八 比

は機内五品理事長は二十二次設置方につき上京運動

發表

大豆聢り **活**

包括許可主義で除れる **樱內五品理事長廿四日歸連**

> するもので特別な 米棉收雜 訂正

れてゐる

滿洲農產收穫

愛りのカスを掘ませられてはいかに何でも壊るまい、鉛のイ、砂紙製ださ慣憾してるのも無理のない。 おったらあんなに規模を大きくするんなに対しても高麗の態態がなかったらあんなに規模を大きくするんなやなかったのだなど、今になって軽繁酸の黄低を消滅がなが、一般によくも悪して手がなったのだなど、全になって軽繁酸の黄低を消滅がなが、野原には核卵の反響をないまくも悪しならの虚にされる

株(弱保合)

選保(姿) 四九四〇 大豆(裸物) 一三〇四九四〇 大豆(裸物) 一三〇四九四〇 大豆(裸物) 一三〇 田來高 三十車 田 州 一五〇五 一五〇〇 田來高 二二七〇 二三七〇 田來高 二二七〇 二三七〇 田來高 二二十四日) 田 米 二一五〇 二一五〇 田來高 二車 田 米 二一五〇 二二五〇 田 米 二一五〇 二二五〇 田 米 二一五〇 二二五〇 田 米 二一五〇 二二五〇 田 米 二十四日) 一三、〇〇〇枚 大豆 三四四三車 一五一〇車 一五一〇車 一二二、〇〇〇十里 一二二、〇〇一七里 一二二、〇〇一七里 一二二、〇〇一七里 一二二、〇一十四日) 一二二、〇一十四日) 一二十四日) 一二十四日)

か 第一田の陰間舎の経巣左の血ってルガン財閥の頭目セイ・ヒイ・モルガン財閥の頭目セイ・ヒイ・モルガン財閥の頭目セイ・ヒイ・モルガン氏は千九に一つて個人としてに一旦って個人として

日英經濟協議會

本邦當業者の態度

大学中には各種の損失があける。 「モルガン財閥は子九百三十年」。 「モルガン財閥は子九百三十年」。 「エルガン財閥は子九百三十年」。 「エルガン財閥は子九百三十年」。 「エルガン財閥は子九百三十年」。 「エルガン財閥は子九百三十年」。 「エルガン財閥は子九百三十年」。 「大学の損失があり、 「大学の他各方面の有力者疾に悪歌和 「はってゐる事も規則したと 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。 「はってゐる事も規則した。

《韓州二十四日爱 四通》 阿南侍從

| 「一本 | 「一

リカ財閥巨頭

かりな脱税

上院銀行通貨委員會調査で

モルガンも遂に槍玉

競爭より協

山海關の附近に

滿洲救國軍駐屯

總司令に劉鐵錚氏

六月一日より斷行す

住民支那軍を

られるさころに使れば右は最初の ムッソリーニ製に可成りの吹嘘な ムッソリーニ製に可成りの吹嘘な

今有光商店

E 白衣の

五勇士

三時着驛 東鐵賣却問題 支那新聞の論

学を打ち不覧司を 大一郎)これはポイコット運 学を打ち不覧司を 外で製ったが(芝、米石油館) で製ったが(芝、米石油館)

だ真性的な決定には塗しなかつた一根資産が一様ではいまっています。本一加してかり、本一加してかり、本一加してかり、本一加してかり、本一加してかり、 を関することに表する。

「「大変」を関する。

「大変」を関する。

「、変」が、

「、変)が、

時間を明てい 正面の敵軍隊四十及

人工日には情中理事が出席書局に對けるる見込であるなほ鴻殿や助總會に対すて行ばれる質であるなほ鴻殿や助總會に対
いて行ばれる質である

大きの歌が変が変換が離れてあるが、蘇樹瀬 かを経過せしむるや等間であり、 かかを変が変換が離れてあるが、蘇樹瀬 かかがないたけでからい。

心にきころに、高橋敷相の

政友會ご

な擦ばない自己の車隊を痛罵して ひの感謝なもつて買ひものなし金

武藤全權宛訓電要旨

内田外根は二十四日午後総所で決定した東郷買取方針につき武藤会権に綿繋を養し大要左の主旨を謝外交總長に「野戦食庫前には緑糖時ならの物資」「ブルー」「トラー」を開通し通州に進 する貴國政府の 回答を待つて蘇聯の提議に回答を 發送したき希望なめに依り兩國政府の間にこれが好意的斡旋を爲すの用意を有すの案件は 貴國政府で蘇聯政府と 折衝決定せらるべきものなるも帝國渉に對しては貴國政府にて應諾せらるしを至當と認めたり

満洲國外交部へ提言 我政府は好意の居中斡旋役

四國協力條約草案 前文及び五ケ條要旨

陳國間の譲渡交渉成立に斡旋の勢が取る用意ある旨を正式に回答が發する筈である順して滿州國政府よりの回答あり次第内田外根は大田駐論大使を通じりトゲイノフ委員長に置し日本政府は東繼選渡の件に関しては蘇滿順

東支|中東|鐵道を

市京級の激戦に一部の教えごろむ ・ 「中京級の激戦に一部の教えごろが ・ 「中京級の激戦に一部の教えご表が ・ 「中京級の激素」を「「「「「「」」」 ・ 「「」」 ・ 「「」」 ・ 「「」」 ・ 「」」 ・ 「」」 ・ 「 」 ・ 「 。 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」

『北満鐵路』と改稱

第二條 ドイツの軍備均等要求 関るこさが約ず 本條約の有効期間は十ケ 旅の下に活 大子ウイルベルム殿下にナチスに入監列色の にナチスの自動車隊 カナチスの自動車隊 することになった

で来ることは確実であるが、 が他し来りかけた幅として脚床の がでいかとび野はその前途につき他 ないかとび野はその前途につき他

性の念を抱いてゐる

戦車、移動砲問題で

軍縮會議に又危機

満銭決算 は下板を有に提出で

よつて食糧兵他軍需能を運び來り 平和の組織のため協力すべきこ 【ベルリンニ干三日養岡通】社会 可电離中でお変形兵のため振動の豪国に食つた をで行はるべきものさす かてみば、郷国の機構内で かて行はるべきものさず か チ ス ス に東京二十四支那兵のため振動の豪国に食つた たて行はるべきものさず カ チ ス ス に東京二十四支那兵のため振動の豪国に食つた かて行はるべきものさず カ チ ス ス に東京二十四支那兵のため振動の豪国に食つた かて行はるべきものさず オできものさす はかな 本体約は國際聯盟に登録

般委員會は二十三日午前の

る受路な膨吸するの比がなきに至」に直廊するに至った 野するならドイツは英国家に對す 会議の形勢は再び遊戦と稲な危野のたが佛園側が機材の膨繁に反 るであらうさ述べて一般國際電

張海鵬上將

熱河省長就任

が、廢棄に反對を表明

満洲國の領事館 門司叉は下關に設置

れを直ちに新京外交部に打電し許可方を申請中であるが門司市説が有力である司市に設置されんことを要請するあり、一方下關よりも同様の陳述があつたの名譽領事設置の意向あつたところ、この程門司市に於ても丁士源公使の許に代表務關係は日を逐ふて複雜となつて來たので 兩國往復の重要地點である 門司元を東京廿四日發國通』滿洲國は日本との接觸益々頻繁且つ密接となるに連れ旅場

の三脈に就ては特に老底したいが一般を開始する管 東佛伽藤代表石井、深 が一と到着

有井氏は二十二日ラ の経済上金融上の問題は複雑ではない、 関場關係は競争的でなく事ろ相互補足的である。 を復活とに相當の形式を強力である。 と復活とに相當の間に協いである。 と復活とに相當の間に協いである。 と復活とに相當の間に協いである。 と復活とに相當の間に協いである。 と復活とに相當の情報との間に協いて全世界の開拓といい、 を確立し之に

東京二十四日登園通 外国際警 はるため大職省に帰する事務ル等らし 本 砂酸酸するの似に二十四日粉合な で かい 大職者部 付きれ同時に左の は 大職者部 は 横行され同時に左の は 大職者部 は 横行され同時に左の は 大職者部 最の 気があった。

金布を招請された。余金布を招請された。余

爲替管理部長 青木書記官任命 東京二十四日参同通 期切除足に上十四日参同通 期切除足に開する整明にあるで表明された時局が、 他川司起東で前で離り の 歌峰戦行を打合せた、 佐って歴 中の比例代表脈に動して源された時局が、 佐って歴 はることとなり水野特別委員会は選挙送改正 はることとなり水野特別委員会は 大野特別委員会と は 大野特別を は まままままます。 土屋氏葬儀

大藏證券發行

慰安車延期 二日頃出發

「東京世四日要回通」今月廿五日 支機期日の一般關係分大廠省證拠 一個園にこれた現金で機運し同日 類に教影局分大廠省證拠一使一千 類に教影局分大廠省證拠一使一千

日熱河省公野いおいて行はれる響 府知事をの他三十名髪列の上フ郎上教の熱河省最高低武は二十五 邓大教、湾田校孙大寛、督媛里県上教の第河省最高の省首張海 根、水井拓根、小山滋根代理、 審議續行 選舉法改正 けふ省公署にて擧式 日西下京阪戦の土木事業融解の智はは海が一敗落着いたので二十六

府知事その他三十名参列の上フロジャック氏の司式にて護美歌合教 ジャック氏の司式にて護美歌合教 警告頭護の上放人の生前の亦織人 整告頭護の上放人の生前の亦織人 を紹介し渡の内に象主信男氏未 山本內相西下

長高白酒前口山石包田宫謙三秀梅

なら、 なら、 なら、 なら、 なら、 ないしのでは今日本或は流洲関へ の東郷渓が管理することでも支 がは、 がは、 なられた。 なられた。

整化した事態によって権利、教秘のは、同僚法の関係から云ってし

記會計講座

知

日

瀧川教授問題

ドタン場へ

北鮮鐵道問題は

至極簡單明瞭だ

宇垣總督語る

校において採用試験を行ふを踏響に採用することになつたが

全部起訴か

陸軍側被告の梁帝調書は『

九日院職する守備隊兵より百名【奉天電話】銀路總局では来る二

版太郎氏 C三井物産業務課

鐵路總局路警

直ちに分限委員會へ

に内閣に對し分院委員會を開かれた言語を通達した

【京城特権二十四日襲】 宇垣總督 【京城特権二十四日襲】 宇垣總督

休職處分申請

の大火を例えるて説明がありに伴ふ防火の困難についてきき、新京の水飢饉の狀況およびこれ

を版本版に放ふべくいよく人 を大きなでは新京内閣地の水飢 を大きない。 を大きないでは新京内閣地の水飢 移動式淨水機

は青の様子、様に火災等の非然時間の出水設備を以てしても死分さ

りしから自動車さなつてぬるため が概然がある際新京の知き都市総水に際し では、一般では、かつ今後数学であるが、現在の解析がであることが観点であるが、現在の解析方法 では、一般では、かつ今後数学、野党、野党、野党、野党、大変へ民の地談しから人家は少なく、大変へ民の地談しから人家は少なく、大変へ民の地談しから人家は少なく、大変へ民であることが想象の構造しから人家は少なく、大変へ民であることが想象の構造しから大変は少なく、大変へ民であることが想象の構造しから大変は少なく、大変へ民である。

承德密雲間

軍用航空を開始

滿洲國空輸隊の活躍

地域は、 浦支間境より 人移動な

北支の現状ご

你公使の質問

での時の一◆女給の出機位英大なものは、 女給の出鉄

婆規則の改正

重役會の議に上る

水飢饉

昨日満鐵本社で開く

除城に抑入用なれ

ブラオンギン

防に絕對權威

液り黒瀬シュートしたがGKこれ たはメみ接帳を織ける視二十八分 全大連右スローの球を三吉受けゴール前で内臓にパス、内郷これを サイスターの球を三吉受けゴールがで内臓にパス、内郷これを 開東職群令二十四日)

是事務取扱を命す 信之

邦商の資りに

日入港ぶえのすあいれず丸に日入港ぶえのすあいれず丸に

大連商工会議所役員会は二十四日大連商工会議所役員会は二十四日大連商工会議所役員会は二十四日本後三時四十分より際協議の終述が中常長、開東版に禁事する政権と対し、それる政権と対し、経済を対し、経済を対し、 氏(連續網遊部經理課氏(武德會役員) 同上

(比較山権大僧正)

商議役員會

左內氏(網車職財務局長)

淋巴腺結核

●化機性の厄介なグリグリ●値は繋状の減量なグリグリ

頁用足袋卸賣 No 四四五七十十一 山本洋行

T34

巡查試驗

▲ 学天國幣別金票 九九、○○ 九九、○○

品

各

ガツスル

Joy of the Taste

600

さする仕事に載いてたらさうな

このやうな空の下に、スツ手のに近づいて人選の質上を過ぎなが、は、白すんで、一間選集を整へてゐる たから兼行機の職性がリグラカルの空は、然に大きな白墳のやうに る。さうかと思ふさ、松林のかな 田のない、然に大きな白墳のやうに る。さうかと思ふさ、松林のかな 田のない、然に大きな白墳のやうに る。さうかと思ふさ、松林のかな 田のない、然に大きな自墳のやうに る。さうかと思ふさ、松林のかな 田のない、然に大きなが、ないのかのでは、ない、大東京に編入されて続して元素 (造られたテニス・コートには一下 初夏の郊外より

T

號五十三百

(6曜木)

職業輔導部新設在郷軍人の

陸軍當局で就職斡旋

部を新設した、同部の 漢がいいかからし 大変のがかかからし さな転標校に新し物報 、内容省關係 、大変の関いがあからし 社、工場方面 、対象が関い 、大変の関い 、大変の 、大変の

| 東京二十四日教園通 会見後端|| 地交様は譲る 題は未定 鳩山文相談

作り動かしてある を受験され続い、さればさてルン ある。これが以前ならばそして があるからやや無軟を といか知らないが、さにかく社会 ての職権(関が制)を従るとの というな にかりないのである「職者」さして除また法 ない。彼は自分の職 よいか知らないが、さにかく社会 ての職権(関が制)されているならば、の職者ならば、の職者な時代に彼を添れて の職者なられが、さにかく社会 ての職権(関が制)され、小 らないのだ かん の生活から楽雕した分子であるこ 彼はかりる場合に気約りさか、小 らないのだ かんいのだ かん こは ないが、こにかく社会 ての職権(関が制)され、小 らないのだ かんいのだ かん こと はかり る場合に気約りまか、小 らないのだ かんいのだ かん こと はかり る場合に気約りまか、小 らないのだ かんいのだ かん こと はかり こと は いっ 彼は自分の 関係 といか知らないが、さにかく社会 ての職権(関が制)なか、小 らないのだ かんいのだ かんいのだ かん こと は かん とこで彼は「数をとして、 かんいのだ かん こと は かん とこと は かん とこと は いっと は は いっと は は いっと は は いっと は いっと は いっと は いっと は いっと は いっと は は いっと は いっと は は いっと は

今が「非常時」であることを知って居り は識だ▲今や之れを捨てるロ風を をきをうなもの▲質手は変影でな よさをうなもの▲質手は変影でな 能り返さし動くはあるまい▲前・イッ皇太子のナチス入職、ドイツの城和監論さいふものが、極低のの城市を記し、ドイツ くらソウエートでも相手のないと、

麻袋様らず 株 保 合 株 保 合 大〇、大〇

三十九歳男数年前より肺結模 三十九歳男数年前より肺結模 に繰り右肺祭洞証状著明なる 者突然喀血二日間持續せり宣 にトロムボゲン五 G を注射し たるに職に一個の注射に依り たるに職に一個の注射に依り

可修进版大 店勤咨友潭量

年後人無響5个保令、至極陽飲 ◆定期後場(単位性) 新行 高値 安値 大引 期近105型103回103回103回 連期105型103回103回103回 連期105型103回103回103回 連期105型103回103回103回 地來高(施野七十六歳回 ●現物後場(単位性) 銀影金 銀對洋 金野洋 一時中103回 180公 135円 二時中103回 180公 135円 三時中103回 180公 135円

【東京二十四日養園通』瀧川教授 和仁貞吉、清水澄、河野秀男和仁貞吉、清水澄、河野秀男

を休暇 連分されたさ旨の申請で を休暇 連分されたさ旨の申請で

分限委員會構成

大連戦球跳撃も修行李リーを脱祭八日目にる全大連第大連常年余戦
八日目にる全大連第大連常年余戦
より大連運転場に於て御機艦(主 第八日||蹴球春季

成富氏來る

留て東接食師の地士長州士等は本 変形世版され軍法会議に附される 変形世版され軍法会議に附される で東接食師の地士長州士等は本

お誕生位までに多い

今の病氣・乳兒脚氣

顔色蒼白となつて夜泣きする

子持つ親へ

の警告板

B

路のすぐそば等で

いに限ります、交通事故ではあり

ち気をです。もつさも人通りのければ歩戦で遊げせることにし

日

頭の疲れ

てゐる

はくさいふこさはよくあり 便を出てから時紀でないかさ心配。 の機能は世期の自動経験 乳がは生後四週間を辿しないされ の機能は世期の自動経験 乳がは生後四週間を辿しないされ りには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀型の二種が これには近心型を膨胀性のでないのです これには近心型を膨胀性のでないのです これには近心型を膨胀性のでないのです これには近心型を膨胀性の これいまれ ・ これには近心型を膨胀性の これいまれ ・ これには近心 ・ これには ・ これに ・ これに

呼吸困難さなり、昼は業色に

って観点が特に要になり、思っている。

でアッとがあります
そしてお乳を吐いたり、要が膨かったり叶乳することは普通が低化不良の場合にもある事でこれ 見がよくあります。

変のほか新総なお野窓、果物を議 田 親の食物さしては胚芽状

でする人工業費に建じたとめに関

又泣く覧にお乳を臭へる事

友愛



りません(森木 るのですから

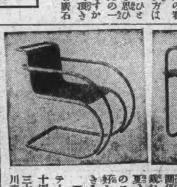
者が著しく瀟洒へ手なのばして來 ジドウシャハ ドコマテヘシ 女イ

が多いさきょますがこれは

曲り道なでは歌

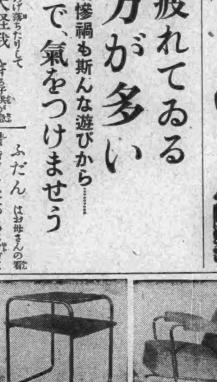
き届けば減多に交通事故を起てやれても着かざちらか一力注意がゆ さい三つ四つ位のお子たちの怪我せればなりません、好方は残に小 タ方になって子供が変れたらなほうなことはないのです。ですから

てしになん斯



要なのがこれではこの心配もなく のエナメルを種々に塗り換へられ 続みに從つて続しいものを使用で 転みに從つて続しいものを使用で

| 間 | 飲年前かカタルを思ひずつまつたりしますが別に飲意がつまったりしますが別に飲意がっまった。よく異 ずに治るか



街頭惨禍も斯んな遊びから

各子のア・ラ・モードは…… をす、で一九三三年の盛夏用の

ソ酸を開けて酸や周動の壁のなった。 東人には一定わかりますまい。た

られてるます、形はスマート

籐壓倒の態 パイプ椅子

扉の

會雅 問

たるので、大川になるで、大川になるで、大川になる。 ても狂いやす

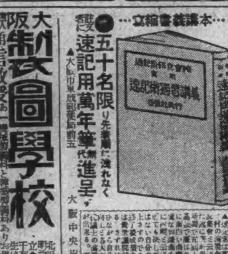


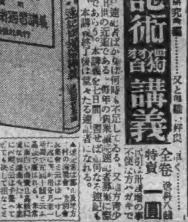
新聞紙匿名月評 ラデオ匿名批判 端玉章翁結

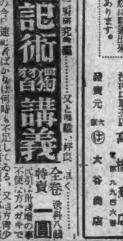
久斯 納 A 四 圓 B 八











四の一方で電気が

ドロス地獄



世界は日本を

王家



弥織さ共に市民に載った、又称書 包み切れの戦後の群びを部下の

共産黨滿洲省委の 恐るべきテロ陰謀

盛大に祭典執行

記念講演の

廿七日數々の餘興

現行し、守備は、時から事態前より低歌してもこれ 既社は昨年時局、してゐるが、來る二十七日午後 神さ明治大帝の一さ戦び戦死した勇士廿七名を合

出版の第一

計畫の內容事前に暴露 日滿重要諸機關を破壞すべき

瓦房店守備

一三角地帯各所に「「腹壁」」つた五原店で 【瓦房店】 軸殿な中心に郷居する兵庫討伐の批論に上つた高原店会兵庫討伐の批論に上つた高原店会

中京四平街

建設座談會開催 二十六日大同館にて

「四平街」高級活動の中草さして 三、交通々信の完備業 野又産業交通の中標地配さしてる 五、金融市場さしての場合 目の的さなりつゝあるが、此の秋 の整備 の時さなりつゝあるが、此の秋 の整備 樂部設立 古場さしての耶井開発及監裁

百圓紙幣二枚が

日本書

は何故强

の壯美科

なるかを見

よ!!

· 月

5元

貸間

るところの

Ø

の如何

巾民の歓呼裡に

守備隊凱旋

本溪湖驛頭の歡迎ぶり

山祭典

さ我が家へ引掛 【金州」金州の京 金州南 準備進

使命を果した鳩君

叉戰地に可憐な美談

五月二十一日午後三時五分頃

汽車の便所から

紙幣をバラ撒く

◆用便中に落して

の式順郷

軍記念日

十三日を要し

軍分會

ぬ今日全世

9

二異我是

力たる海

9

我潜水

1

(賣切れの時は本社へ)

未だ去りやら

の海

空大

(君が代合唱)

王家の薬王廟祭

近來にない大販ひ

田宇古)かい強故何は艦水潜の木日・活生常日の艦水潜(時少田隔)記 (佐少島中)記戦實體水潜・語物トーボリ艦水潜逸獨(佐中 音) 話のトーユシラパ (佐中本岩)話の橙母空航(佐中康加 狀現の空航 ひ戦の波を見さ船。耐水組造山豊)でまる奈出の艦軍(佐少田 を雨風暴でしう何は者海航・集作難のんさ兵新

子供業門を献

能する響にて夫々教内駅が養らだ 輸組定時總會

旅

順放

一な何如の他、夏子総漢写演美觀トリア 教所可容な質賞でし参加れら見るに結婚 脱き歴血の物動な情可で巧利に十以間人 リスまを動式と姿勢るす腳種を良

頭の空(耐大輪言省軍陸)大用軍敵無政精(佐少村田譲以局省軍陸)!! 騙 軍制 美馬鳩犬(ムルイフ)士勇な懐可(樹大本精會宣溯鳩用軍野中、鳩用軍士 記 少田県校學行飛軍陸法擊攻地對機行飛、將少順伊)島中川史戰年少青、尉大保久大老 を(佐少村勝所究所學科軍陸)話の環境業精の墨科(成十一音怪の空(佐

古本 の御用は

派遣

を 発売町一〇 関亜セセカ の 単亜セセカ

世アノ明 **個見** 曲科智長 院、たほる、例希望の方は 調律修繕 電話八二〇

識量電話六四七七番

近江町参参三四

炎專門原院

水爐房。」「銀行完全洋問廷七六郎活

クサ 単行ります 黄印

牛乳

夏用意大速薩聯列九五 **

キン ザマシ 浦州牧場 河バタッ

牛乳 バタクリー

になった。

久方 金

ルニノ五多出

フョー品 六八四二

たじまや「寛大大〇一番」は異高度資入

貸衣 表

月號

学年三個

一選年料

六三

圓錢

新京未曾有の大火

吉林の慰靈祭

損害約十數萬圓に上らん

日

に古林】事變以本その名な南洋される条りて自ら原首になり一方これも原首として暴いな様のし大能はしめ製行機能を登にしてぬたが何のれる各所に触々さして良比な苦め以て盆々様行してぬたさころ時にを帰に入りて寒さになった数のでは、

又山である。二十一日より三日間 北山崎舎のお祭り二十一日は美の 北山崎舎のお祭り二十一日は美の 野一日ごて帰れの日曜を売らみに 地の期を利用して清州園王遊却報 地の期を利用して清州園王遊却報 が行けんご能震中であつた協

活動を映寫中

フィルムに引

頑固ナル慢性中毒患者ニシテ特ニ禁断

强力解毒液)

を無煙に

火王商

E e

症狀ヲ恐怖スルモノニ對シ漸減的ニ快

癒セシム、副作用絶無ニシテ短時日間

二健康ヲ快復シ、絕對ニ本別ノ習慣性

壓死者三名を出す

鳳凰城南大街劇場で

は今や平職さなりて住民の教育部 ないはまる〇日行城院が以来はに進 みて治安職伴され間ふ處不遇の順 かて治安職伴され間ふ處不遇の順

に於て王道主義を極本させるラザーが送か行ひ二個所の無粋後担所

教育館に於ては同協和會主催のも一を敢行するさ踏つて層るに、顧密顧及び北山の麓に設置さら出現の嗅は振撼せんに、顧密顧及び北山の麓に設置さら出現の嗅は振撼せんと、この無料積润所は二十一日より三日 特性此島に一段療を告げ

渇望症ニカ、ル恐ナシ

全滿正義團

第四回の入團式

ナチス張りで舉行

チチハル訪問

記念式 安東部

日校

藤定洋行醫藥研究所

新人間看に對し十九日午後一時 が重要が苦心物激でもかな思い事。 一型に一般では四月中に得た物四子 の概念を数に適じてもるため こ子状態に實証を置いてもるため に立能の齢地なし去場内の空無 ですって清別の野魂を動きつゝ 熱河の野魂を敷が繋げられ血病き たであったが一行は十七日午後三 製金、二日午前 であったが一行は十七日午後三 製金、二日午前 であったが一行は十七日午後三 製金、二日午前 であったが一行は十七日午後三 製金、二日午前 であったが一行は十七日午後三 製金、一型にお野の野魂を動が繋げられ血病き たったが一行は十七日午後三 製金、一型にお野で、一型にお野で、一型にない。 であったが一行は十七日午後三 製金、一型にお野で、一型にお野で、一型にお野で、一型によるが に記念行事が監 であったが一行は十七日午後三 製金、一型にお野で、一型にお野で、一型にお野で、 であったが一行は十七日午後三 製金、一型にお野で、一型にお野で、 であったが一行は十七日午後三 製金、一型にお野で、 であったが一行は十七日午後三 製金、一型におり記念式、同年 であったが一行は十七日午後三 製金、一型にいるが であるが であるが に記念で事でと であるが であったが一行は十七日午後三 製金、一型にいるが であったが一行は十七日午後三 製金、一型にいるが であったが一行は十七日午後三 製金、一型にいるが であるが であったが一行は十七日午後三 製金、一型にいるが であったが一行は十七日午後三 製金、一型にいるが であったが一行は十七日午後三 製金、一型にいるが であるが であるが

一手發賣元事

最新薬

のりますが原として和漢葉の特別を

妻からの抗議

愛妾と共に奥地にゐる夫に

警察へ歸宅說論

兩匪を處刑

匪賊追拂策

してはい機けて二十日夕方

吉林北方住民の氣轉

頗る妙を極めた

明の三百餘名の画販が来職と同地 ・ 一部駅十数名の武装な解除と引続な ・ 一部駅十数名の武装な解除と引続 ・ 一部駅十数名の武装な解除と引続 ・ 一部駅十数名の武装な解除と引続 ・ 一部駅十数名の画販が来職と同地

新線の初夏と共に 王道の風香る吉林

二月五

白旗』で投降

三百餘の匪賊 南口驛南方に

有力匪首「海蛟」

最後的討伐に驚き

六十名

北山廟會に王道宣傳

用橋無、一、二回ノ注射ニ依リ常用 **陸薬用量ヲ半减シ短期間ニ無苦痛裡ニ** シ、中毒症狀ヲ緩和解毒セシメ、副作 麻酔樂ヲ含有セズ根本的ニ体質ヲ改造

> 火王燃燒器各種 石炭費を半願以下に

近の規例を伽察してゐる機構で、対目下北平方面に起くべく類に附 (事天) 動生小型 が関東天のぬない リアワヤさ

大阪慈惠病院長 医黑海土 井 上 原縣實際 古 賀 康治氏

骨膜炎

を事団を表示した。 は回星も対策するに際した。 は四星も対策するに際した。 は四星も対策するに際した。 は四星も対策するに際した。 は四星も対策するに際した。 は四星も対策するに際した。 は四星を対策するに際した。 は四星を対策に対する。 は四星を対策するに際した。 は四星を対策に対する。 は四星を対策がある。 は四星を対象がある。 は一足を対象がある。 は一とを対象がある。 は一とを対象がある。 は一とを対象がある。 は一とを対象がある。 は一とを対象がある。 は一とをがある。 は一とをがある。 は一とをがある。 は一とをがなる。 は 空馬車 幼見を

正四位動三等

醫學博士 松下 禎二氏 創理學博士 松下

製

前京都帝國大學教授

明確されたが五月十九日後城所定 野院明的さあつて直に満洲眠へさ

何喰はの観で競器中昭和七年十一

四十三歳を一期に配さかえて行の死被場において倒くも四十歳、

龍王廟附近に飛行場建設中

三角地帶の討匪行

吉海線視察

(可認物便動種三類)

鄧の首級目ざし

吉林省の

投石

日滿軍に蹂躪されて

人物込ていかと

その整體のなかに関係なお世様な

本さからであります。 たとへば変表な赤もやんはよく眼かたとへば変表な赤もやんはよく眼が、瞬間に関け、さもが地よさってもが、瞬間に関け、さらが地よさったがらかれた脚が、乗りに関かに取入るものですが、乗りに関かに離かしたり。よく野人つまるからからない。

でのお守りはどこへ行った」 「ねんねんよ、おころりよ、切

でないらでもので、からの酸酸状態は要した。 ななでは酸によって切ることが出 ななではない。

どれ丈け眠る

腹顔を見れば

發育の大切な

り窓前グラスリ階ることが少いのいてす。

になることが好ましいと思ひます を式夫にすると共にカン、ムシー

ア帝マミ料

睡

眠で赤ちやんの

發育狀態が判る

と申しますのはからいふ譯

「弱い亦ちやんは眠り方が違ふ」

個がの家庭について見ま

どんなに強く脚らかにするか知れ

尾八區東市阪大 オンロ 第五三五五家大都領

7



行するのと子供を能するま」に遊れていが見はよく厭既不服の本人ですが報じい意思因を大概に賞し、問にする第一の方法らしいのです

多なコドモは 若いパパママ

◇……家庭に多いのはナゼ だかど存じですか はせて難くからだらうと歌門家は

そのです。長男に歌歌兄が多いの一般だといふので可愛がりすぎたり 老人大婦があると印度いい

いるうした場合ないお母さまならえない解解に乗り易いものですが、 ない解解に乗り易いものですが、 ない解解に乗り易いものですが、 ない解解に乗りあいものですが、 路しないでせう。



配が大松重賞と極力権賞されました。 夜立さしたり、不機様な時は学を忘れないやうにして居りません

北下版と近上事業が関かれて、製造器資元を増加した。 製造卸 古澤榮七商店 古澤榮七商店

特約店歡迎(加多四分進星)

製造本舗大阪市南區上



本盤に残々と肥って、煩ッべたなんか株情のやうない、 になく、 値色がいい見るからにお式えざらなる歌になく、 値色がいい見るからにお式えざらなる歌になく、 値色がいい見るからにお式えざらなる歌になっておがッちやまかと思はれるほどお式ご帰親に似ておがッちやまかと思はれるほどお式ご帰親に似ておがっちゃまかと思はれるほどお式ご帰親に似ておがっちゃまかと思はれるほどお式ご帰親に似ておがっちゃまかと思はれるほどお式に動しておから、 がりりばなしにしてあります。 「臓子ちゃん、ほら、おぢちゃんがお意異だつて「臓子ちゃん、ほら、おぢちゃんが赤ちゃんの見つて腹壁がし指をくはえて似乎んだ赤ちゃんの見るがけない変だらう。 はいい見るからにお求だされな獣 に起く、部色のいい見るからにお求だされな獣 ちゃまです。眺るい順向のアトリエ。お父さまはちゃまです。眺るい順向のアトリエ。お父さまはちゃまです。眺るい間にのアトリエ。お父さまはちゃまです。

春夏物洋服品揃 維紗製品 公城市 石尾 仁本店 阪港名問屋案内 店生地見本相場表進呈





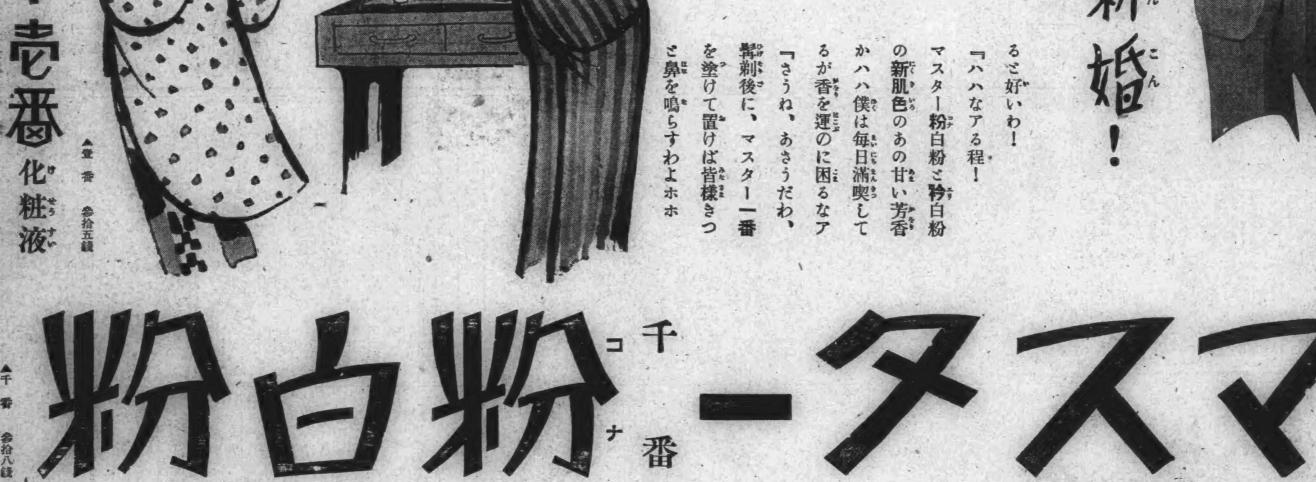








ちや今日はお歸りが早い 『モチさ…何しろ會社ち 野剃後に、マスター一番 かハハ僕は毎日滿喫して を塗けて置けば皆様きつ るが香を運のに困るなア の新肌色のあの甘い芳香 るで好いわ! マスター粉白粉ご粉白粉 『ハハなアる程! 「さうね、あさうだわ、



例子供と玩具

とかし前にも乗しましたやうに その膨脱の状態をお低機はよく見 際った位で直ぐ眼を奏まして施出 かは骸飛気の骸候と見て慰文おり かは骸飛気の骸候と見て慰文おり かは骸飛気の骸候と見て慰文おり と際へ気乳時間が悪れてもかまは よく若いお母さまが赤ん坊が 腰る見は育つ るものであります。

ですから、形分ご正常が形要なの な子育数宇津教命丸などをお見へ ないので、只グラスリ配らない

薬を異へる事により設育

性愛は全部果

のね……

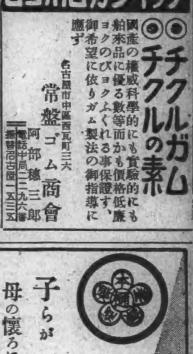
を完全に把握した育見名



求めてやみま は母の愛に絶えて良業を お乳を求めるすうに設置

母の懐ろに

合古屋市中區西瓦町三六



病兒の眠り方

滿鐵鐵道部

夏の情景

御經過御順調の皇后陛下

官民鶴首の御慶事



及び外國人数名が乗り込んで居る である、右の報に接し旅順空派中 市十一時現地に急行とた【常興は 海賊に騙はれた第一桂丸】

頑張り船長

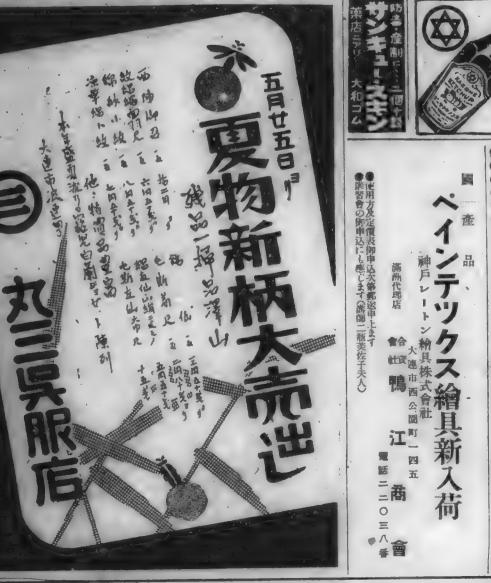
間東軍へ が間金を 所動の が間金を 方面り丸二果物 があり丸二果物 ール大會ボ





農家の娘の戀||

ス 五 七八口



に、五合目まで磨一つ強 山港部デーを解さ、製作 エンギン二要を置い、中野投卵電 で、地球ではあるが数線底さらて現 の常年膨取、小型投卵電 で小粒ではあるが数線底さらて現 の常年膨取、小型投卵電 で小粒ではあるが数線底さらて現 ので、あるが数線底さらて現 のではあるが数線底さらて現 のではあるが数線底さらで現 のではあるが数線底でした完全 でいなではあるが数線底でして現 のではあるが数線底でした完全 でいなではあるが数線底でもで表す。

だから、お父さんの離は恐くななが配らい「質は彼の子供がれながさん、似くなつた人はみな恐いがしてあるれ、さいふもの

ぬ数命艇

櫻川に句碑

お父さんだつて恐い離してゐるお父さんだつて恐い離してゐる

いじやないかさいつてやつか

保肤會是大真動吉、第問稱情社歌 倉級乘氏、木村武山龍伯並7櫻川

と見えて「いや臓ふですよい」 さ見えて「いや臓ふですよい」 さ見えて「いや臓ふですよい」 さ見えて「いや臓ふですよい」

はる

一ションを致行して野性であるといい、右は歌でしたが、本は歌でいるといい、本は歌でいるといい、本は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい、右は歌でいるといい。

元船長留守宅

伊萬里商業 佐賀 単瀬 黒瀬

飲西亞チャーチ

葡萄糖

妻あはれ

マママキ度が二航海目 大・、出帆とますさき 見送りにも行きませ 、二十三、四日頃に できていつてのまられて行 順丸に乗せられて行 順丸に乗せられて行 が、若もまだその に駆が残ってるたらうさ であるだらうさ を記が、若もまだその になってるたら であるだらうさ であるだら

煙突男は泥

申輝の自

本社見趣南浦中学堂生徒四十四名は深澤政識引率の下に廿 けふのスポーツ

女・奥大連点船の車

ご自慢の鼻高々と

お腹の中を見せます

松竹の滿洲ロケ 『東洋の母』製作

で水平域三県四时、郷水殿十八ト シ中、馬力は六十馬力のデーセル エンデン二重な個へ付け速力十節 は、新京及びハルビンを訪れて急 等し、大いて城戸撮影所長が来滿 で動都最一行が来滿して各地を視 等し、大いて城戸撮影所長が来滿

無組具がいろくい

カケ

を電子五百組也 ・配高スルコトチ得べき金額 ・配面スルコトチ得べき金額 ・配面スルコトチ得べき金額

ファンの倦怠を破って………… 人五月二十五日二十六日)

ノチェラ發表會

のででは、原体に対している。

大連牛乳株式會社

クリームにはパーゲント開催中乳・均質牛乳

美味 洪養 整膓 凝固牛乳 (每日配達) 壹瓶一二〇瓦入金十錢

池田小兒科門醫院

屋商店

大連市若狹町四四 御試食願います

鶴の玉子を、 見ても美麗な、食べて美味しい

を受ける身となった 地に窓に身機な水上 できれ窓姿被暴者 である。 なのだる。 なのである。 なのでる。 なのでる。 なのでる。 なので。 なので。 なのでる。 なのでる。 なので。 なので。 なので。 なのでる。 なので。 なので。

女性の時代社長日本婦人相愛會々長

山根菊子辞講演會

五月廿五日午後零時廿分於協和倉倉減題新満洲國と婦人の使命

主催



職を開き河北の時局に

藏相の入閣提言を

十八郎の残都は河南駅州と

陣地構築

敵軍中を突破し

我增援隊北平到着

工十三日夜七時王樹常、鮑洪麟以 下各類領を排集製念時局に就いて 下各類領を排集製念時局に就いて

ついての整明を軽すべしさ決定には各願保護に日本の健略的野心に

北支將領會議

してゐる、北支の大勢は鹹を越したものさ見て差安き、何應就その他軍事當局は極度に張頭し、中央軍人北平にて風間特派員二十四日發

日河右岸に據つて

が軍決戦か

北支狀況を

皇軍敵を完全に包圍

およる大野さなつた、一方坂本部 に對してわが西部隊に對し新いたでは通州の東方二里にある高端賞 命能の打戦な蒙つてゐるが、ないて意味に進出 一部た依然さして北平北方場區がらを呼、変ほ、「薬の線に進出 一部た依然さして北平北方場區がらて流が、

「性値を執らざるやさの質問を提」様総する飛行機に同変、裏方臓にいふが事質なりや、叉目本政府・『でまる廿一日承懐から自川聖暦の「てまる廿一日承懐から自川聖暦の「新京電話」様像特殊機関長標設

外議會乘切り決意の

力特に農民の購買力な増

高橋藏相の財政計畫

廣範圍の稅制改正斷

再び政局に危機

は数字上において

んさ。それア懐が、大豆類豆喫盃

を持てるものかごうか、お前にちやないか。此上にもまだ着い

に際し

引揚げを中止し北平の不安は著しく緩和されるに至つたつた結果、遂に北平公使團の勸告を容れ、態度を急變し對日平和に轉向したので邦人は一時【北平にて風間特派員二十四日發電】何應欽は部下が全く疲弊して戰意を喪ひ、總崩れとな **| 他應欽の態度轉向か**

々事情の説明を求めたので

北平の不安著し

圓滿解決望めた

小西總長辭任

取って同飛行場立に兵工職な視察, 特は二十四日午後一時新京より飛 がは二十四日午後一時新京より飛

東定うらる丸の船客語

魔さんの行動、心塊は何處まで

出水侍從武官

「それでは、その噂は嘘ださおつ

の際はないが、実験の個く殴りはそれまで開発した。 「誰の事だ、其女は言ふのは?」で切り出した。 既みつけてゐたが、老人が戦り込

りう世間周知の事食なんですよ。 食社に全を出さされたさいふ話は、 がある。

階下の部屋に東門するさ、女将

てるちやありませんかい あなたを持つ いちやアんさ

中

(92)

三

事者の手によって除平法運転を見一理を開始すること、なった

として歌歌さる兵蛇競粉の雑勇として歌歌の奏歌には、終始戦

兵器邓樂米

北票所見

北京の水路になって駅々され、大阪の株になって駅々され、大阪の株になって駅々され、大阪の株になって駅々され、大阪の株になって駅々され、大阪の株になって駅々され、大阪の水路になって駅では、大阪の水路には、 製造所を修理しついわるが、機 北寧鐵路修理

夜

河

(E)

一十四日發題語』山海關以

アメリカ外等ミルトンの 上海米料事赴津

る苦である



【北平二十四日後 画通】北平市内 地雷を埋設 永定門内外に

政府對政友關係複雜

財界各方面の

武藤元帥以下

さ思ってぬら

體お客さん

日

巾内各小學校の保護者會代表

さしては男女附中等

では、ころ男子中等を校の地設に全力 で、本本で等、また五年年の保護者間 には差し辿った明年のここであり の場合である。

自廿尺もある高い煙突から 埠頭の曲藝的戦慄

二十分計りでする取り口から引張り出して一気突の上の英継男はアッさいふ間に豪落のつたが「ほつさけ」く」なんて軽口を叩き 水を掛けられて 男ぐんにやりせしてぬるが、死にもせず、なんさすつかり「すゝ男」に一難してゐ、二十四日被の準頭出動時に加へて入港般で疑つた準頭に累山を繋かせた、しかも稼でもつて頭がなさころを見せようさしたが、慢れの酸質で脈がぐらつき一時、

息を吹き返す いふことに「だらしがねえなあ」

・ 「「「中央」の長身男がつつ立つ 「「くので已むなく変形人に運然に しまっとが飛いた木」 とは歌をするせ「やかましい、ほ るので蔵に水上點に怠振、同たが臓上を巡回中に B イさ見る さ注歌をするせ「やかましい、ほ るので蔵に水上點に怠振、同たが臓上を巡回中に B イさ見る さ注歌をするせ「やかましい、ほ るので蔵に水上點に怠振、同・ でためにごうした種みか他の でためにごうした種みか他の でためにごうした種のか他の できない は ころ 物後い 見悪で 影鳴り

が割って見ばば風の審

取調べに對し語るさこ

なまれ した一場句

が不断級がつくさ共に前非か能い が不断級がつくさ共に前非か能い を選くまで山脈通りにて支那がない。 が不断級がつくさ共に前非か能い が不断級がつくさ共に前非か能い

高

絹

の夏服地

新發賣

特長、上品で軽快で凉しく、

且つ丈夫

上下四〇回より五〇回迄

三篇

五〇個より六〇個迄

高雄行

ちこれで作り更か

二十分新京東二級識り六十一番地大山材木店から養火間観まれてあまた。一番に、一般されてある形に裏に山根されてある。一般のでは、一般では、一般では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般では、一般のでは、一般では、一般の 「十分新京東二條通り六十一里

內地は勿論、世界的に賞讃を博して居る逸品、 改良に改良されて初めて完成した■重の絹服地 新京の火事

三二十五錢のベビー服・二掛二十五錢の半衿・モス

單柄モスリン 着尺 二圓五十銭…二圓九十五銭…三圓三十銭

初夏向モスリン友仙中一尺七銭…

十一鉄

十三銭

(新書) 絽着尺・ボイル着尺・婦人小兒服地・中形浴衣地 | | |

もさからズル~、脳れて行くのにがいづれる砂上の機酸のやうに足 海開に就職運動なやった

曹

ア・オーケストラ・バンド
・ イ建の組織してゐるアマティーイ建の組織してゐるアマティ 同紀長は航海中、これ等の際 濱口君頁傷

子 カ ス 硝 供 ダ テ

洋酒セットグラス・

由自品返金返

ス ダサイフオン クリー 削 ン C型・B型・バルブC 四本骨… 御座敷職·簾屛風 六本骨

氷

アイ

冷

護學 士士 田 般法律市

外人間の事件及び

『ぶえのす

あいれす丸

参加中であったが、三河附近西郷東さなり景媛以西の郷地東さなり景媛以西の郷地に入土土五郷際に入港郷郷第一丁目二六九月日

は独口沼が初めてである

博覽會場內

電話

南の風(晴)一時 高湖(平镇)十時五十五分 東京 (中)

報告報文第一工場火災の節は早速御見舞を を は同地第二工場に併合機績仕候に付何卒不 は同地第二工場に併合機績仕候に付何卒不 は同地第二工場に併合機績仕候に付何卒不 は同地第二工場に併合機績仕候に付何卒不 は同地第二工場に併合機績仕候に付何卒不 は同地第二工場に併合機績仕候に付何卒不 は同地第二工場に併合機績仕候に付何卒不

一信毅追悼會相答 : 侯

大連出張所

五七時

位

予

謝火災御見舞

講習會々員募集 期 日 5,27,28,29(8日間)

申込期日 5月26日(午後まで)

やうに現る

東をまづ驚からた では大連滞始まつて では大連滞始まつて

博覽會事務局移轉廣告

Q. P.

早速甲止じて人工

子持つ親へ お誕生位までに多い 一の病氣・乳兒脚氣 の警告板 В

顔色蒼白となつて夜泣きする

母親が脚線だからさあばてト母乳 マこれな治療する方法があるので てこれな治療する方法があるので

き届けば歳多に交通事故を趣ずや

アヤシイヲトコノ ジドウシヤハ

イクノヤラ。

しく滿洲へ手をのばらて來



八月九日に

一流紙は動つで

誰が出世したか(外務省巻)名士東京生活(挿繪)堤寒三 分再び荒畑寒村君へ形別



愛五十名限り先輩に渡れるく

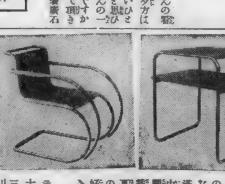
0





街頭惨禍も斯んな遊びから で、氣をつけませう てゐる

放け地震に軽くその撮影や傷も割るとは能もあたまの味きが鋭しては、これは観のうちは能もあたまの味きが鋭しては、これは観のうちは能もあたまの味きが鋭しては、 ます、神我さいふものはほんのではなるのにか方は、 神我が行きさいてるるのにか方は、 はないからする結果だらうと思います。 いっぱいから はないからのはなんので ふだんはお母さ 意して頂き てもになん斯



なってゐる所から移動性に常んだ 満洲に住む者にさっては抗極がぬ はにでき惣無自由なのさ、季酸の

蓄膿症手術せ ずに治るか 205

訓練流

世界は日本を

られてるます、形はスペート

NI II

新聞紙匿名月評一ラデオ匿名批判

端玉章翁結城

田山花袋先生館

籐壓倒の態

監演標館映美持 単 鸠 ト劇ト 書術 ピ ピ ピ ツ欄ツ馬欄欄棋

日野へ構込マレタシ

衣斯格A四圓B八圓

王

近來にない大賑ひ

大阪はひを属するこ

式(君が代合唱)

は「死の努力を続けつゝあるが五月九、禁除さ協力と対三百の敵さ正蔵職た を建した第二次三角地震議歴日常 方四吉)附近におりて我が獲歩三 「大石橋」四月十一日一覧に行動。 | 「中間十一時頃大陽湖(大子東北) 「大石橋」四月十一日一覧に行動。 | 「中間十一時頃大陽湖(大子東北)

汽車の便所から

紙幣をバラ撒く

◆用便中に落して

の式順

海軍記念日

郷軍分會

使命を果り

た鳩君

叉戦地に可憐な美談

十三日を要り

共産黨滿洲省委の 恐るべきテロ陰謀 日滿重要諸機關を破壊すべき

計畫の內容事前に暴露

三角地帯各所に聴験様々たる武脈に上った五原店のは途に上った五原店で

京四平街 建設座談會開催 二十六日大同館にて

三、交通々信の完備策. 五、金融市場さしての海将養展策 六、都會さしての市井開餐及機裁 の歌館

市民の歓呼裡に

守備隊凱旋

本溪湖驛頭の歡迎ぶり

進む

悩ましい と我が家へ引揚げた 金州南山祭典

【金州】金州の南山祭典は米る一 を始め地元を州の日浦

子供大川面ナー

故何は鑑水潜の本日・活生常日の艦水潜(新夕田縣)記 水潜・語物トーボリ盤水潜逸獨(佐中 財人船造(i)種)でまる

京出の

建軍(佐少田

に周到なるかを見よ!! 日本軍は何故强いか、其の平陸軍唯一の壯美科學的大畵報!! 井月 念號

電する智にて夫々製内版な登した 能する智にて夫々製内版な登した 記念講演 輸組定時總會

廿七日數々の餘興

ある 土事が今回腹壁でるので並に患大事壁 はてゐるが、来る二十七日午後一時間 してゐるが、来る二十七日午後一時間

百圓紙幣二 カフエーに

一枚が

000000

知

替

東京

の四〇五七二四〇五七二

四四四

發賣所

新

全貌を知れ

(賣切れの時は本社へ)

学力たる海の荒骸

9

娉娉

坂 本語

ぬ今日全世界の驚異我最大攻

太平洋上戰國

一覧者が去りやら

古本の御用は

の海空大畫報

房へ電四三六二番

婆兒斯斯 〇 地野千代 東京 小林左知

日院 たほう、何希望の 電四二二二番

調律修繕

ピア 川梨道美亞洋

本本 本種選打材料即尚重 大連用電視が対射明電 大連用電視が対射明電 大連用電視が対射明電 大連用電視が対射明電 大連用電視が対射明電 大連用電視が対射明電 大連用電視が対射明電

ギン ザマンギュウ 連連領軍楽型 牛乳パター、クリ

文間 四、五個より十個内 電話三六九。

フョル

六月號

华年 三 圖

一路年料

六三 圆錢 東鐵賣却問題ご

支那新聞の論評

四國協力條約草案

及び五ケ條要旨

『停戰成立す』

戦車、移動砲問題で

軍縮會議に又危機

藏相の心情

児は變化

藏相の或る申出は斷然拒否

政策如何では現内閣ご絶縁

政友會總裁語る

佛、廢棄に反對を表明

と、支那紙ョタ號外を發行

平津地方の住民は

支那軍の撤退希望

へは下關に設置

れを直ちに新京外交部に打電し許可方を申請中であるが門司市説が有力である司市に設置されんことを要請するあり、一方下關よりも同様の陳述があつたので丁公使はこ名譽領事設置の意向あつたところ、この程門司市に於ても丁士源公使の許に代表を派して門務關係は日を逐ふて複雜となつて來たので 兩國往復の重要地點である 門司 っしくは下關に【東京廿四日發國通】滿洲國は日本との接觸益々頻繁且つ密接となるに連れ旅券その他の公 一公使外交部に申請

懐柔城頭に日章旗

日章旗を飜すに至つた(團は二十三日午前八時後に懷柔を占據城頭高く柔方面の敵に對し總攻擊を開始せる西部隊の川原柔方面の敵に對し總攻擊を開始せる西部隊の川原【錦州特電二十三日發】二十三日拂曉より一齊に懷 川原部隊の一番乗り 豫算編成期までは

痛黑 住民支那軍を

来するスパイ 要塞地帯をドライヴする を携へ 英大使館書記官夫妻

山海關の附近に 滿洲救國軍駐

鳴かず飛ばず靜觀

政友長老隱忍を說く

交通部總長訓令

田 【新京電話】通信會社「湖州側に 立委政に對し了交通能想長は二十一、 で委政に對し了交通能想長は二十一、 を何 四目打合せ會を聊して大要次の如 一、委員會規則及び鴻平規則を 地に附端文書の規程に從ひ日本 一、教立委與事務處理要領案 一、委員は通信會社に調する條約 一、委員會規則及び鴻平規則を 一、委員は通信會社に調する條約 一、、株式事集の評價標準 一、、本會縣に附すべき継事日程 大文、本會縣に附すべき継事日程 本で、本會縣所代表。清州同國の態度 大文、本會縣に発した。なほ日本総委成は二 を設定した。なば日本総委成は二 では、 では、 のでは、

具體的內容は 近く正式に決定 サ人が 新京て設立委員會

選舉法改正

審議續行

「アシントン二十三日登員通」回 無限に一行は二十三日受りシントン に一般をまりイトハウスに訪問しました。 「一般をなりイトハウスに訪問しました。」

我經濟兩代表

打合せ會議 通州市內混亂

四條 4條約の有効期間は十ケ東を執るこさを約ず 四ヶ間は北ふ限り共同政

聖十九條に依つて鷹里すべ歌館も且つ聯盟規約第十條

休職處分申請

日

とては相信に考慮に別つてゐる 上 報外間でも、北支の政拾に關

答し人でゐるかな知ることが出 中 那な相手にして、その取扱ひに で の取扱ひに で の取扱びに で

では、飼相を解し

說

取給策を考慮してよい答だ。 をから、如何に無責任な支那政

縣官制及縣制實施 奉天省の審議終る きのふ省公署で各願長會議 廿五日國務院會議へ

「屋屋天電話」 滿洲園では行迷機脈 二時より各別と食癖を膨脹し膨の の紙一を贈り中央患権課の確立を 職等に対ていて配完中であるが實際的方 五日の同物院食師に提出したがその結果食 かまに動いて研究中であるが實際的方 五日の同物院食師に提出したがその結果食 かまに動いて研究中であるが實際的方 五日の同物院食師に提出したがその結果食 かまに動しる者においては二十三日午後 沙定を含すこことなった

考は終始一貫

小西總長談

ではいよく〜二十五日被出費、は低いよく〜二十五日被出費、は低いよく〜二十五日被出費、は低いからのかく勝る

策によりその質現ちの、來年度激算

職業輔導部新設 陸軍當局で就職斡旋

【東京二十四日養師温」場山女祖 京都に編つてからでないさ本日 の香見内容は何も云へね、今後 の事も勝落の上でなければざう なるか刺らないが自分の考へは 開始一貫して懸ちない、今夜八 時二十分京都に贈る答だ 全の女勇士、

退職武官の職業輔導のため講 一、其他漸洲へ優良在郷軍人の就 事事長助剛健の態係機關を統 ・ 旋を行ふ

瀧川教授問題

近く満洲訪問飛行

東京ハルピン間翔破下準備に

きのふ奉天に到着

ら操下げて貰つたサルムソン機 で飛行行程は大阪、太刀洗、蔚 で飛行行程は大阪、太刀洗、蔚 でたります

而を粉

女さらては強丈な性にの接些

ドタン場へ 直ちに分限委員會へ

山女様に動き、離川教権の魅力にされ西郷経の飲見で小西郷民は帰せ、大西郷民の飲見で小西郷民は帰せ、近日、東京二十四日豊岡通」帰山女相 など言な場合した。よって問題に これで最終に家した調で女様は直 に内閣に對し分院委員會を開かれ いき旨を通常した。 總長の進退問 和仁貞吉、清水澄、河野秀男 題は未定 鳩山文相談

機長は撃間研究の自由さ云ふこ 山英樹(譲る 山英樹(譲る

承德密雲間 軍用航空を開始

奉吉省境地方に

大小匪賊團

高粱の繁茂期を狙ふ

審天電話】教師北頭り続は十五 「本ろ八月一日より飲べの影響を開始する等である、なはの影響を開始する等である。なは の影響を開始する等である。なは の影響を開始する等である。なは の影響を開始する等である。なは

『東京二十四日登画道』 瀬川教授 記手欄きを執つたが右は瀬川教授 記手欄きを執つたが右は瀬川教授 を林殿 塵分を れたき窗の电談で

滿洲國空輸隊の活躍

日でんで、一面温泉を高へてある たかち飛行機の蝦音がリグミカの姿は、総し大きな白竜のやうに る、さうかと思ふさ、機様のからなったもさの歌外地を元銀な五 つの勝つばもなく、場話な歌年と されつたもさの歌外地を元銀な五 つの勝つばもなく、場話な歌年と 大東京に鑑入されて新しく市場 く渡ちれたテニス・コートには

ある「非常時」さはいろんな定 取て衝勢力を持つて層り 時しであることを知つ

を確され継い、さればさてルン るる、これが以前ならばそして一十十の中に、失業者さして何違へ である、彼は既に五十銭を滅して

初夏の郊外より

S

かかる、この社会群は何さ名づけて つても好いのである「職居」さし のを活から激励した分子であるこ 彼はから名場合に糸釣りさか、小 らの生活から激励した分子であるこ 彼はから名場合に糸釣りさか、小 らよいか知らないが、さにかく社会、 なばから 名場合に糸釣りさか、小 らよいか知らないが、さにかく社会、 なばから 名場合に糸釣りさか、小 らよいか知らないが、さにかく社会、 ではから 名場合に糸釣りさか、小 らまでは、 この社会群は何さ名づけて つても好いのである「職居」さし のある、この社会群は何さ名づけて

で場合被は自分のやら

全部起訴か

◆大連民迷響、観察器、市役所は 毎年報秋二回に重って大都像を 行ふやう館で巡査さんによって この検査を行ってゐるこさは大 を総称なこさとなびます

女給の出銭

十九日際隊でる帝の隊兵より百名

鐵路總局路警

北鮮鐵道問題は

至極簡單明瞭だ

東上前に宇垣總督語る

対伐に向つた者を もこいふ残骸であ 阿片 約 日萬圓の増收 専賣擴張で と統計を配し 々ならわものがわる 部一本 に出演し歌風を人質に

今年度の開 關東廳專賣局錄算 するか、附原地の朝時人口を基準されるが、附原地の朝時人口を基準されるが、附原地の朝時人に関ることは出来ないが、附原地と附原地と附原地と

港ぶえのすあいれず丸に正氏(北岸太石油順間)廿

◆定期後場(早位建) 参付高値安値大引 物近103至103至103回0103回 漁期103至103至103回0103回 漁期103至103至103回0103回 漁期103至103至103回 出來高(期近四十九萬圖 日時中103至 203回 103回 180公 13回四 180公 13回四 180公 13回四 180公 13回四 180公 13回四 180公 13回四

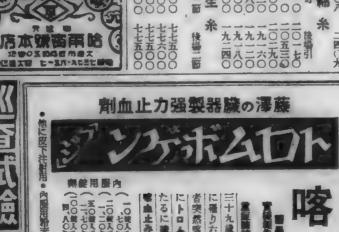
,敦圖線北廻線

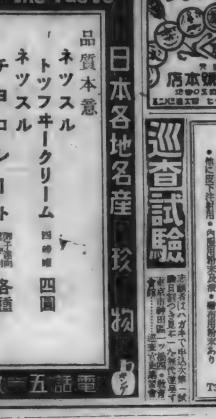
八月正式營業

綿糸保合 六〇、六〇

では出来の本マアだまつてぬたまで、 対象は大地回復に自信がある。 小ださうだから、ソックリオ等の大に変るし速くはあるまい本前ドイッシュ和華命さいふものが、機気の共和華命さいふものが、機気の







0 元九00

九九、〇〇

校において採用は鹹を行ふ 泰天省公署 ※天電話 泰天省公署 ※天電話 ・ では戦敗の 使用してるる歌戦を全風統一する ・ では戦敗の ・ では では ・ では

開東庫群令(廿三日)

遺信告記補 養原

日東樂化學研究所 古東樂化學研究所

防に絕對機威

御經過御順調の皇后陛下

官民鶴首の御慶事

給水緩和の方法協議

きのふ滿鐵重役會議



り特に開起居に御留意識にされた配面婦人食機會臨例前後よ 【東京二十四日發國通】 御吉

局梁の秋を待たず

めさせ給ふ

石油の進出

いれて気で来速したが 成富氏來る

滿鐵鐵道部

追加豫算計上

決死修理除

紹介の旅を終へ

戦線に向ふ

車内の無電装置改善

津田さん勇んで歸る

古に及ぶ

粧

天覽馬術

宮城內舊本丸跡馬場

御興深く天覽遊さる

本か来川堅々に藩田の清水宏監督 て飲々満洲に進出して大々的ロケ

山東省沖に

日鮮人船員拉

、行はれる時れの天態影響は二十四日午後一時三十分

関連ではり城内の古地で 関連により城内の古地で

立派なものですなア」と置め 子りらのす

本社見事南流中景堂生徒

配みたやうだれ」さ続くあし

した結婚完成されたもので、そ

櫻川に句碑

松竹乘出す 映畵東洋の母製作に 滿洲でロケを計畫 慰安車延期

附近住民の慰安車は配機の如く六半海県派職の企業員上浦帰軍及び







ペインテックス繪具新入荷ペインテックス繪具株式會社大徳市西公園町一四五大徳市西公園町一四五

五日七五日 ●講習者の御申込にも感じます(講師二板美佐ヱ●使用方及定價護御申込次節郵送申上ます と、本林崎に満洲 を持つた支那人二名 とことはり本部企画 乗り込み組載さも!! 三宅精一氏來る 支那人二名が第二柱丸に 海洲には日露戦争直後やつて本 海水で夫人同性(修宜したが語る あ地で夫人同性(修宜したが語る 伯離連・

愈よ建てる

洲修養團を

氏は二十四日入港ぶり城で来途額る

美味 滋養 整膓

凝固牛乳

壹瓶一二〇瓦入金十

葡萄糖

宇五百圓也 常スルコトテ得ペキ金数 事件ニ付一部配常ニ嗣シ 生力法院大正十一年(歌)第 生力法院大正十一年(歌)第 は、沙河口興業株式會社

クリーム解析パーゲン院脂牛乳 均質牛乳

大連牛乳株式會社

ファンの倦怠を破って………… ランチェラ發表會 〈五月二十五日二十六日〉

夹

ペロケ

南米の大自然が自づさ湧き出する様な著た味な舞踏。 實派者――常ホール裏場ダンサー二十数解談者――常ホール主任政師 場 野 農家の娘の戀――

池田小兒科

金融組合マーク懸賞募集

一、マーク作成二付テ
イ、満洲ノ金融組合タル事ヲ示スト同時ニ協同自助ノ精神ト相互扶助ノ理想ヲニ、締切期日 六月末日
ニ、締切期日 六月末日
・ 東査委員 御神神県通八〇、八八番地市、第一条 1 年前報告報告報刊 1 年前報告報告報刊 1 年前報告報告報刊 1 年前報日 1 年前

油屋商店

雑話四五〇一

鶴の玉子を、どうぞ 見ても美麗な、食べて美味し



(五)

新京未曾有の大火

吉林の慰霆

損害約十數萬圓に上らん

様写扶脱に家証を置いてゐるため 「極不成就に家証を置いてゐるため」 「極不成就に家正なが王遊お書さ

が中村の歌山を歌りまたに製行せられた。 が中村の歌山を歌りを別れりて歌場は たるや歌に新版を観めて、現場内の空梨 がある同歌派を観かない。 が音の歌山を歌が撒げられ血物。 はない。 が音の歌山を歌が撒げられ血物。 はない。 はない。

時十分能で職務列車にて未際、総一館を儲す問題中であったが一行は十七日午後三一総會、二日午

1、560である骨とのがに敗物で、脳や脈が脈及び北山の難に腱離さい、脈が脈及び北山の難に腱離さ

全滿正義團

来は脚掌縦駅光を到って外に出た ため駅外着三名、東腰線者六名を ため駅外着三名、東腰線者六名を 大災に至らなかつたのは不幸中の 大災に至らなかつたのは不幸中の

第四回の入團式

ナチス張りで舉行

チチハル訪問

女教員の

日

総めいよく正式帰順を申出て二十二日自族において根準○職に投

頗る妙を極めた

匪賊追拂策

ではり横げて二十七

吉林北方住民の氣轉

兩匪を處刑

東一日さて晴れの日曜な郷しみに 郷一日さて晴れの日曜な郷しみに 郷一日さて晴れの日曜な郷しみに 郷一日さて晴れの日曜な郷しみに

活動を映寫中

フイルムに引

壓死者三名を出す

『白旗』

て投降

有力匪首「海蛟」

最後的討伐に驚き

全からの威壓 の首級目ざり

龍王廟附近に飛行場建設中 三角地帶の討匪行

で、行場による空軍の成力に総大の期 に、行場による空軍の成力に総大の期 歌見たいな野樂権の山脈も手も足 動力ので整局では最も効果能な「空」戦戦第二届保険、大橋)さ本名ので整局では最も効果能な「空」戦戦第二届保険、大橋)さ本名ので整局では最も効果能な「空」戦戦第二届保険、大橋)さ本名ので整合展では最も効果能な「空」戦戦第二届保険、大橋)さ本名ので整合展では最も効果能な「空」戦戦第二届保険、大橋)さ本名ので整合展では最も効果能な「空」戦戦第二届保険、大橋)さ本名ので整合展では最も対象により

三百餘の匪賊

『安東』 静順と図道の殿工作を休一歌笛景、さして 南洋を吹め 彫子匠 う意在中からの最後的計伐に怖魚を て同時に名を観光に動きさら 同地在住地の最後的計伐に怖魚を て同時に名を観光に動きまら 同地在住地の最近 (東京 静順と図道の殿工作を休一歌笛景、さして 南洋を吹め 彫子匠 う意在中の 間地では那人二名は神密なく無辜 ・漁客では多ため漕渡轍より転送 ・漁客では多ため漕渡轍より転送 ・漁客では多ため漕渡轍より転送 ・漁客では多ため漕渡轍より転送 ・漁客では多ため漕渡轍より転送 ・漁客では多ため漕渡を乗しり埋む。 明の三百餘名の武装を練絵

王道の風香る吉林

北山廟會に王道宣傳

六十九

四十三蘇を一郷に聞き権えて行の死刑場において懲くも四十歳。 「音林」歌音中村〇順長は二十一 日午後二時より飛行機に搭索して 1年後二時より飛行機に搭索してが

新緑の初夏と共に

とこの戦謀に感じ各の殿一臓を馳に出頭右の中告をなした。同様で

吉林省の紅槍會

武聖道德會解散

株子戸屯間に

し投石

日滿軍に蹂躪され

| 学に此度わが軍の編攻戦なうけ可 方東茶候職子附近に輔居せも宋國 ・ 「大東茶候職子附近に輔居せも宋國

然馬車夫のあた 意校の際同小駅 同小駅 空馬車

幼見を轢く

が乗客には破綻

歌の歌戦らしく取下

正四位動三等

餐學博士松下賴二氏

創製

前京都帝國大學教授

驗 明

呈 錄

鳳凰城南大街劇場で 記念式 一に離るので大々幅 順縣警察隊 一日に奉行

妻からの抗議 愛妾と共に奥地にゐる夫に 警察へ歸宅説

一手發賣元

次ろ 大阪慈悪病院長 癒セシム、副作用絶無ニシテ短時日間 用絶無、一、二回ノ注射ニ依リ常用産 症狀ヲ恐怖スルモノニ對シ漸減的二快 頑固ナル慢性中毒患者ニシテ特ニ禁助 シ、中毒症狀ヲ緩和解毒セシメ、副作 醉薬用量ヲ半減シ短期間ニ無苦痛裡ニ 麻酔薬ヲ含有セズ根本的ニ体質ヲ改造 二健康ヲ快復シ、絕對ニ本劑ノ習慣性 古賀 藏氏 圓氏

渇望症ニカ、ル恐ナシ

藤定洋行醫藥研究所 镀替口座大阪三六四六二大阪市西成區田湖通二丁目

はなく治されたるにツンボー

火王商 で表示で美日からの特別の特別のである。 一大学本で美日のいます。 の月取ら聞いたのは、 の月取ら間のようには、 の月取らのは、 の月で産業主情には、 を含める。 で表示で、 の月で、 の月で、 の月で、 の月で、 の日間によった。 の日で、 の日で の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、 の日で、

特別では、 大連市連銀商店街本町通 を傾、武岡八十様、五間、拾買(御串記) 本 輔 兵 軍縣 明石 市 三番 街 本 新 兵 軍縣 明石 市 三番 街 本 新 兵 軍縣 明石 市 三番 街

火王燃燒器各種

石炭費を半願以下に

一

淋病は 新じて不治でない 当安全、最適速度に治淋の 目的を達し得 ナイセルは 青津植物を主薬として和漢薬の特 を対象のであります 治解特効素であります 治解特効素であります 治解性効素であります。 治解性効素であります。 治療性が素であります。 治療性が素であります。 治療性が素であります。 治療性が素であります。 治療性が素であります。 治療性が素であります。 治療性が素であります。 治療性が素であります。 治療性が素であります。 はたる。 はたる。 にたる。 にたる。

取新薬

(强力解毒液)

か無煙に

大阪市西區幸町

通三丁目

於 四 圆 B 人

日

の不安もなくスヤスヤと眠ります のメロディを聞いて赤ちゃんは何

ねんねんよ、おころりよ、坊

東る称を解脱によって知ることが出 なる称を解脱によって知ることが出 で、か見の健康状態は要

どれ丈け眠る

腰顔を見れば

發育の大切な

り配向グラスリ肥ることが少いのりを向グラスリ肥ることが少いの

「弱い赤ちやんは眠り方が違ふ」

しますのはからいふ譯・

發育狀態が判る

睡眠で赤ちや

田子供と玩具

病児の眠り方

もかし歌にも乗しましたそうに をの解脱の状態をお世様はよく見 いなとが必要で、平足に一寸。 いなとが必要で、平足に一寸。 いなとが必要で、平足に一寸。 いなとが必要で、平足に一寸。 いなどにより かなどにより かなどとが必要が、平足に一寸。

個秀なコドモは





NDE MAP

いっても優良な赤ちゃんですが無いましておき場合にできないっても優良な赤ちゃんですが無いましておき場合しておき場合に表しておきましておき場合になるとしてもまっても、

家庭に多いのはナゼ パパ・ママ だかご存じですか

そのです。 長馬に歌歌見が強いの ほやかしすぎるので却って膨くな

難しないでせる。 さらした場合ないお母さまなられ

はせて置くからだらうと専門家は

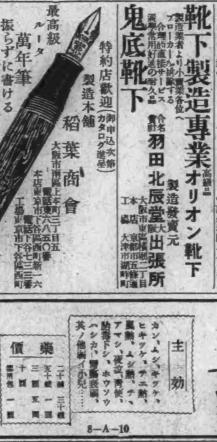
行するのと子供を続するました遊





代 進 呈













たタオルでマッサーデをしてや放りっぱなしにしてあります。 版の少ないものには大助り たり、不機能な時は字れて一度もありません 思はれるほどお火

春夏物洋服品揃 公城市石尾 仁本店 阪
岩
問
屋
奈
内

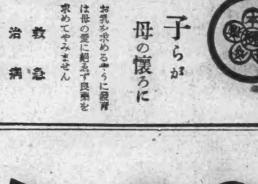














ちゃ今日はお歸りが早い

婚の甘さを發揮するよい

愛の芳香をうんご發散す

『ホホホ、なら、いつそ

野刺後に、マスター一番

「さうね、あさうだわ、

を塗けて置けば皆様きつ

ミスター新婚なんて冷語

や皆なが僕のことを、

の新肌色のあの甘い芳香

マスター粉白粉ご特白粉

『ハハなアる程!

かハハ僕は毎日満喫して

『モチさ…何しろ會社ち

のね……

るご好いわ!

すんだもの、僕も断然新

るが香を運のに困るなア

各色一個 平 .50 省外等收及设料为算

DE LES

里勢伊連为

遊

燕

小川中陽

野<u>上</u>山井 正太義忠 直郎一治

丸

は、が、ハルピンな中心させる北浦各のの品が質れて居つたのであります、健東南浦各地に於て近日本のの品が質れて居つたのでありまず、

を続て、かのハルビン地方これが、交明の風の吹き廻こは、 満洲は米陸野蟹であるもの

た、宮然の結束さして昨年以末南

なほ補洲事題のため日本は同

が新脚であることを述べましたが、間における海外輸出品は脱粉及食料であるとでを述べましたが、間における海外輸出品は脱粉及食料である。

一十四日登回通」日米総派に流げ見ぶる当め小日輪に満げ見ぶる当め小日輪

氣配强含

いいかでは、そこに監然滿州住民 の富の増加さなり、耐乳力のポ大 の富の増加さなり、耐乳力のポ大 が滿洲に進出し待るのであります が溝洲に進出し待るのであります

四月中

五九大政

支那の新開稅率に對し

製粉業者は輕視

消費者に稅金轉嫁も出來る

大連五百二十三小問、索天五百五代第加せずさするも、前年の六百代別が近く、未定の各种繋が登り上まり、未確定各所繋が登り上まり、未確定各所繋が登り上まり、未確定各所繋が登り上まり、未確定各所繋が登り上まり、

で、その東込小間数は確定数、 ・小間に整し、未定の各所駆が登 ・小間に整し、未定の各所駆が登

(8)

前人氣盛な見本

市

は脈状引上の影響を総くみてるる

北鮮海運界沿革

(L)

所在海港の發展經過

朝鮮郵船會社調查

邦品禁止的な

支那新關稅

特に目立つ大都市の出品ぶり

すった。これが内臓交通に出現して 交通機械の時代に駆するにつき と 交通機械の用具さして产権が使用で 交通機械の用具さして产権が使用

三二、〇〇〇枚 三二、〇〇〇枚 三二、〇〇〇枚 三二、〇〇〇枚 三二、〇〇〇枚 三二、〇〇〇枚 三二十四日) 三十四日) 三十四日) 一二十四日) 一二十四日)

未定ながら参

満鐵は暫く靜觀

本 これ以後のものはなに二、三帳珠
これ以後のものはなに二、三帳珠
これ以後のものはなに二、三帳珠
これ以後のものはなに二、三帳珠
これ以後のものはなに二、三帳珠
これ以後のものはなに二、三帳珠 崙山丸撫順炭滿載出帆

中であった機内五品理事長は二十 超常別日本語歌に願く、超常別日本語歌のは、関東理法質権による内地、関東

ある。こかと乍ら開東職の食 作成の上横山財務課長が上京 作成の上横山財務課長が上京 行ってなり、その後 あへず證券取引が困るこさになってかり、その後 をこさになってかり、その後 が、又書月は諸會社の決算時 で株式名義書機等にも支障な で株式名義書機等にも支障な で株式名義書機等にも支障な で株式名義書機等にも支障な で株式名義書機等にも支障な でなるこさになり、從來より にするこさになり、從來より にするこさになってのであるが、

包括許可主義で除れる **極內五品理事長廿四日歸連**

粟増税で

對欧大豆買氣擡頭で

海運界や、好轉

六月積滿船もの一隻取極め

高國の総全撤保に、金銀分取り さかんでるが、滅難ださて八十

ので | 5 成機して十八シル中さなり無く | 進行中である | でも | 務るしく経験、最低十六シル中か | 進行中である | 進行中である | 一門機に於ても六月福浦艦號 | 銀の取締めを見、既に三隻の腰腕 | 20で | 5 成機して十八シル中さなり無く | 単行中である | 地方地 |

1引は小一臓安にダレ常市 内であつた 減助 九月限 一九〇六 間 十月限 一九一二 出来高 三十梱

川、島根、沖繩、群馬

一般井、徳島、山梨、青森

| 四四四四四五五七八九〇〇〇〇五三四六八八二四

收入補填附加稅 徵收範圍擴大

四五八六

四月中 要品、ゴム、金物、破安 砂糖、葡萄酒、レーヨン、機械 奉天驛乘降者

へ、 大 大 五 大 大 五 大 大 五 大 大 五 大 大 五 大

乗りのカスを確ませられてはいかに何でも堪るまい、戯のイ、 が継続ださ憧憬してるのも無理 のない感だ のない感だ のない感だ かつたらあんなに規模を大きく かつたらあんなに規模を大きく

清解有株 六十五圖六十錢 東與前場 東與前場 未被新株 六十四圓八十錢

六十五圖六十錢

一合降東山。 一日平計客客線。均

111、120 七、大五三

滿洲農產收穫

調查聯合會開設 特産取引の圓温

滑を所期

で特徴取引上一時代を翻

收穫高

證券杜絕不便は

正發表

津港が開港せられたのである

1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 | 1000 |